



SRL2
価格：3万6740円

or



20S EVO
価格：3万4540円



+MESH

Pattern 1

Model **SRL2 & 20S EVO**

デュアルコア・機能満載のメッシュインターコム

セナのBluetoothインターコムの中でフラッグシップといえるのが「20S EVO」と「SRL2」だ。Bluetoothチップを2個搭載し、インターコム通話と同時に、スマートフォンの音楽を聴いたり、ナビアプリの音声案内を聞くことができる。そんな「オーディオマルチタスク」機能によって、+Meshを組み合わせることで、Meshグループとも、Bluetoothインカムグループとも、(他社インカム通話時でも)、通話、音楽、ナビ音声を同時に聞けるようになるわけだ。

また、SRL2はSHOEIのヘルメット「GT-Air II」「J-Cruise II」「NEOTECH II」にビルドインできる専用インターコム。SHOEIのユーザーでメッシュ通話を利用したい人には、+メッシュは必須アイテムだといえる。

Pattern 3

Model **10C PRO**

5人以上の動画撮影ができるメッシュインターコム

セナのインターコムのラインナップには、動画を収録できるインターコム「10C PRO」もある。最大でフルHDサイズの動画が撮影できるカメラと、10シリーズ相当のインターコムが合体。さらに「スマート・オーディオ・ミックス」機能を使えば、動画にインターコム通話やスマホの音楽、FMラジオの音声を重ねて収録可能。+メッシュを使ってメッシュネットワークに接続すれば、メッシュ通話に参加するメンバーすべての音声を動画に収録することができる。



10C PRO
価格：4万9280円



+MESH

また、セナのBluetoothインターコムは個性的なモデルが揃っている。ヘルメット・ビルドインタイプやカメラ付タイプなど、「オンラインワン」のBluetoothインターコムでも、+メッシュと組み合わせることで、メッシュ通話に参加できる。製品名の「+メッシュ」という文字通り、このアダプタは手持ちのBluetoothインターコムに「メッシュ」をプラスしてくれる、画期的なアイテムだ。

Pattern 2

Model **3S PLUS & 5S**

コスパ重視のメッシュインターコム

インターコムに欠かせない機能を過不足なく搭載しながらも、リーズナブルな価格を実現したのが、「5S」や「3S」、「SF」シリーズのようなスタンダード&ベーシックモデル。インターコム通話や電話の通話、スマートフォンの音楽・ナビアプリの音声を聞いたり、さらにはFMラジオを聞くことができるモデルもある。

こうしたスタンダード&ベーシックモデルも、+メッシュがあれば、メッシュネットワークに参加可能。ハイエンドモデルのメッシュ通話を、手軽なコストで楽しむことができるわけだ。



3S PLUS
価格：1万2760円

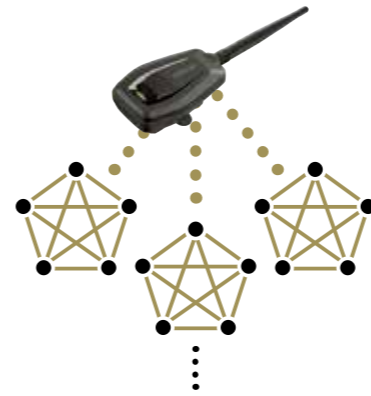
or



5S
価格：2万680円



+MESH



／ 9 Channel! ／

メッシュは9チャンネル設定可能!

セナ・メッシュ 2.0では、誰でも接続できるオープンメッシュの中に、9つのチャンネルを設定。チャットのスレッドやルームに入るように、希望のチャンネルを選んで会話に参加することができる



+メッシュのアンテナは可倒式となっている。Bluetoothの電波の送受信効率を上げるため、接続相手に対してなるべくアンテナの長辺が直角になるように調整して使用する



+メッシュのアンテナはなるべくほかのバイクの方向に向けることが快適な通話を実現するポイント。ポケットに入れるとMesh通信相手との間に身体が障害物となり通信の効率が落ちてしまう。ハンドルやヘルメットなどに取り付け、アンテナを調節しよう

これまでメッシュ・システムは、これは、Bluetoothインターコムとメッシュネットワークの間に入って、メッシュとBluetoothの通信を中継するというもの。コンパクトでバイクのどこにでも取り付けることができ、Bluetoothインターコムへの接続もボタン一押しと、誰にでもすぐに使うことができる。

これは、Bluetoothインターコムとメッシュネットワークの間に入って、メッシュとBluetoothの通信を中継するというもの。コンパクトでバイクのどこにでも取り付けることができ、Bluetoothインターコムへの接続もボタン一押しと、誰にでもすぐに使うことができる。

＼ 組み合わせしだい! ／

「+MESH」で広がるインターコムの世界

セナ・インターコムのラインナップの中で、異色の存在ともいえる「+MESH」手持ちのセナ製Bluetoothインターコムとインターコムペアリングをすることで50Sや50R、30Kだけが利用できるセナ・メッシュ・ネットワークに参加することができる文字通りBluetoothインターコムにメッシュをプラスする画期的なアダプタだ

文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothジャパン <https://senablutooth.jp>



+MESH

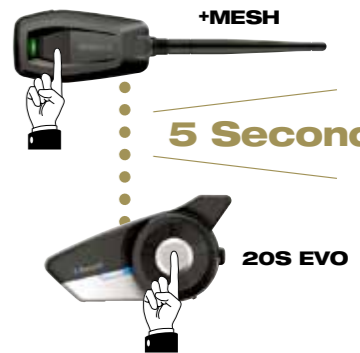
価格：1万4630円

サイズ：45×187×26mm
重量：60g 連続使用時間：13時間
充電時間：約2時間

セナのBluetoothインターコムをセナ・メッシュ・ネットワークに接続させるためのアダプタ。ハンドルやヘルメットなど、どこにでも取り付けられるサイズとなっている

お互いに、5秒長押しでペアリング!

セナのインターコムとの接続は、「インターコムペアリング」扱いとなる。+メッシュはマルチファンクションボタンを5秒間長押しし、インターコム側はジョグダイヤルまたはセンターボタンを5~6秒長押しして、「インターコムペアリング」モードにする。ボタン一押しと操作はシンプル



手持ちのインターコムにメッシュをプラスしてくれるグループ通話でインターコム同士を一本の「線」でつなぐのではなく、「網目状(ネットワーク)」につなぐのが、「セナ・メッシュ・テクノロジー」だ。複数のインターコムで複数の通信経路(ネットワーク)をつくるため、グループ通話が切れにくく、さらにペアリングの順番を気にするといった煩わしさが無い。現在、セナ・インターコムのラインナップの中では「50S/R」と「30K」が、セナ・メッシュを採用している。